臺灣日日新報

本日夕刊共四頁

[illegible]

破邪顯正の義明瞭

傳統の下に必勝決意

首相答辯

貴院豫算總會

【東京電】二日の貴族院豫算總會は午前十時十分開會、河井彌八（同成）氏の[illegible]

山崎農商相 十九米穀年度は[illegible]

河井氏 [illegible]

山崎農商相 [illegible]

河井氏 木材の伐り出しに伴つて土地荒廢を[illegible]

安藤内相 [illegible]

大河内輝耕子（研究） [illegible]

山崎農商相 [illegible]

大河内子 [illegible]

岡部文相 [illegible]

大島陸太郎氏（研究） [illegible]

岡部文相 [illegible]

後藤國務相 [illegible]

大島氏 [illegible]

小泉厚相 [illegible]

松井貫太郎氏（研究） [illegible]

八田運通相 [illegible]

阪谷希一氏（研究） [illegible]

青木大東亞相 [illegible]

建部遯吾氏（同成） [illegible]

東條首相 [illegible]

重光外相 [illegible]

衆院は六日自然休會

【東京電】二日の衆議院本會議は[illegible]

貴族院も八日休會

請願の議案を殘して

【東京電】貴族院は二日[illegible]

社説

戰局愈よ深刻化せん

去る一月三十日[illegible]マーシャル群島に[illegible]大本營より發表された。[illegible]

◇

[illegible]

◇

[illegible]

産業金庫令公布

傘下金融を强力に統制

[illegible]

第一、目的

[illegible]

第二、人格

[illegible]

第三、資本

[illegible]

第四、役員

[illegible]

第五、業務

[illegible]

第六、財務

[illegible]

第七、特權

[illegible]

第八、監督

[illegible]

第九、罰則

[illegible]

第十、雜則

[illegible]

第十一、罰則

[illegible]

第十二、附則

一、本金庫は昭和十九年四月一日を以て業務を開始すること

[illegible]

産組聯發展的に解消

[illegible]

半島同胞を多數移入

華人移入に特別措置

勞務管理 厚相言明

【東京電】[illegible]

岡部文相 [illegible]

女子挺身隊の制度

武井次官 重ねて方針强調

【東京電】[illegible]

米山子 [illegible]

武井次官 [illegible]

請願委員會を開催

決戰色豐かに下情上通

【東京電】[illegible]

後藤國務相 [illegible]

貴院赤字委員會

【東京電】[illegible]

中小工場を强化活用

【東京電】[illegible]

五法案を可決

衆院委員會

【東京電】[illegible]

四法案を可決

【東京電】[illegible]

米穀の還元配給

原則として認めず

【東京電】[illegible]

國有財産現在額

昭和十七年度

【東京電】[illegible]

[illegible]

石炭山の賃銀改正

【東京電】[illegible]

農村の防訓を改む

山林防火線は大規模に

【東京電】[illegible]

定例軍官連絡會議

[illegible]

國家統一と士氣昂揚

印度假政府、議案を決定

[illegible]

一、インド人間の[illegible]

[illegible]

戰業指導所の機構を强化

【東京電】[illegible]

ソ聯の百六十共和國

單獨で外交關係樹立

【ストックホルム二日發同盟】モスクワ來電＝モロトフ外務人民委員は[illegible]

【ストックホルム一日發同盟】[illegible]

比島の初國會閉會

【マニラ一日發同盟】[illegible]

治水利水建設案説明者決定

[illegible]

内務辭令

[illegible]

人事

[illegible]

善意の惡政あるべからず
大きい眼で、心で
役人も民間人も決勝へ手を繋げ

長谷川臺灣總督明示す

【新竹電話】長谷川總督は二日午前十一時新竹州廳に於ける同州官民の訓示に於て決戰下にたける行政官廳の心構へに就き縷々と説き、[illegible]法の精神に生き、大きな目的に着眼して、總ての官民が一體となり手をつないで、國家の要請に副ひ奉公に邁進せよと力強く訓示したが、此の訓示は全島の官吏のみならず、六百五十萬島民が、大東亞戰を勝抜く爲に進む可き途を明かにし、全島民に多大の感銘を與へた、訓示の要旨は左の通り

戰時下官廳の負擔される仕事が多くなり、一方

皇民奉公 運動が展開されて負擔は益々重くなつて居るが之は申すまでもなく決戰下我々が勝抜く爲の所謂職域奉公であり、あらゆる力を戰力增強に傾けなければならない時であるから此の上とも自己の上各職域に精進して貰ひ度い、今日は御承知の通り規則の改廢をどうのかうのと言つて居る時期ではない、要は戰力增強であり、此の目的を達すればよいのであるから、時勢の推移、經濟界の變換に依つて、今年定めた規則が

來年改め なければならぬ様な事が間々あると思ふ、[illegible]

阻害する ことが間々ある、[illegible]

戰力增強 に邁進して貰ひ度い、技葉末節にこだはらずに[illegible]

大きな目標に着眼して努力され度い、私は〇〇部隊を視察した時に指揮官以下總ての人が兵食で我慢して、第一線に米を送る爲、米を節約して居ると言ふことを聞いて、私は涙が流れる程感激した、今日の戰爭は説明も訓示もあつたものではない、勝つか滅びるかの戰爭である、どうしても勝抜かなければならないのである、理窟を言つたり、官民論を掲擧したりして居る時間ではない、全島民が手をつないで共の立場立場に邁進して戰力增強に

一途ある のみである、之より他に御奉公の道は無いと信じて居る、[illegible]今後共民衆と手をつないで氣持良く御奉公して行くやうに努力が願ひ度い

總督激勵行

【新竹電話】新竹廳巡察第一日の二日、新竹市自治會館で晝食を終へた長谷川總督は、午後一時二十五分同所發、[illegible]

聽かう第一線の希望
これに對する意見

【新竹電話】新竹州廳巡察第一日目の二日、長谷川總督は自治會館で[illegible]

有力 [illegible]

物資 の配給[illegible]

“菊”國の華
この眞心　勇士感激

[illegible]

鐵條網を破り敵特火點に
肉薄する獨軍工兵

日・滿の提携は堅いぞ
食糧の對策は萬全だ
“農村勞力”も一對十の敢鬪

國內自給　搖がず [illegible]

日滿の增産　態勢進む [illegible]

配給政策の重要性 [illegible]

農村勞力を確保せよ [illegible]

大君の赤子だ
みな民われ必勝の信念堅持
斷乎皇國に生き抜く！

敵國人 を相手に[illegible]

臺北市 [illegible]

軍旗の 下に[illegible]

砲聲を [illegible]

實地に [illegible]

老いた [illegible]

日曜毎 に[illegible]

心の糧を青少年工へ
圖書、雜誌の配給をやる

【東京電】[illegible]

“女性は鬪ふ”

[illegible]

噫壯絶なるかな！
抑留同胞の精魂

【東京電】[illegible]

祖國の必勝を
ひたすら祈るのみ

サンダ・フェー に[illegible]

フォート・ミゾラ に[illegible]

シャープ・パーク に[illegible]

戰ふ獨逸の青少年達[illegible]（上）（下）

開業醫試驗
海南島勤務

[illegible]

滅敵へ學徒も總蹶起
特別幹部候補生志願者殺到

[illegible]

貯蓄成績は？

[illegible]

自給肥料增産へ
推進結果發表會

【臺南電話】[illegible]

納見憲兵隊司令官
一昨日・臺南地方初巡視

【臺南電話】[illegible]

戰時標準型最優秀船

【香港一日發同盟】[illegible]

晴れの入營を待佗ぶ
五十君所長　嘉義で若櫻激勵

[illegible]

村上浪六氏逝去

【東京電話】明治大衆文學の花形と謳はれた村上浪六氏（本名信）は[illegible]

ラジオ

第一放送 ◇七・〇〇 時報、[illegible]

第二放送 ◇六・〇〇 [illegible]

第九期決算報告　昭和十九年一月三十一日現在　池上商事會社

タイピスト　臺灣住宅營團

貸室　川　莊

今日の映畫　大世界　台劇　新世界　芳乃館　芳明館　城南映劇　萬華劇場　第三世界　太平館　中央劇場　基隆世界　旭劇場　大和劇場　羅東座　宜蘭座　昇平座　新竹劇場　有樂館　新竹の映畫　基隆劇場　國際館

臺灣映畫月報　第十輯　監修臺灣總督官房情報課　製作臺灣映畫協會　北部學徒連合演習（臺北）　石炭增産へ（基隆）　3日封切　大世界館　國際館　新世界館　太平館　第一劇場

東寶映畫・豐田四郎演出　夏川靜江・杉村春子　菅井一郎・中村メイコ　小島の春　三月一〇セン　新世界館

技能者養成所生徒募集　株式會社大同鐵工所技能者養成所

工員募集　株式會社新高製作所

從業員募集　黑板鐵工所

第三次南方要員募集　原田泰風

臺日案內　洋裁　邦文　ボーイ　女中　男女　印刷　寫眞　寫眞　時計　工場　空室　硝子　事務　讓店　洗濯　賣電　結婚　投資　K・I　ラジオ　ラジオ　レコード　和音　引越　引越　陸上　引越　引越　のせ　冷藏　特許　斷食　結婚　賣パ　HS　防空　愛國

夕刊
臺灣新報

航空機と食糧增産
何れにも輕重なし
首相答辯

【東京電話】東條首相は二日午後の衆議院豫算總會に於て石黒忠篤氏（無所屬）より航空機生産と食糧の增産は決戰下における二大國策であるが現下の問題として此の二つの國策が相互に競合するが如き場合も生ずるので之に對する首相の大局的見解が承知し度いと質したるに對し、武力の勝利の爲めに航空機の生産が必要であると同時にこの長期戰を勝ち拔く爲に國民の[illegible]として食糧增産が[illegible]であり此の二つの增産は何れを重しとし何れを輕しとすべきものでないと斷定し、國民の[illegible]に國民の前に一層の奮起を要望した、質疑内容左の如し

石黒忠篤氏（無所屬）[illegible]て之に懸念してゐる

石黒氏 要するに國民の食糧は狹少なる土地の上に多數の家族的經營が行はれてゐることである然も之により大なる生産を舉げてゐる、然るに戰爭の必要上農地は非常に大きな削減を受け飛行場のみならず軍需工場などが田の上にどし〱設けられて之がため多くの農地が潰されてゐる、之は止むを得ぬこともあらうが出來れば政府は[illegible]の地でなくむしろ耕地でない次第の地を利用して貰ひ度い、次ぎに政府は農具の生産を五大産業と同一に取扱ふと言明されたが其の後農具の通行は餘り[illegible]されたと思はれぬ、土地狹少なる我が國で增産を圖るには肥料を[illegible]探して貰はねば增産は難しい、私は農民に對しては肥料がなければ增産は出來ぬと言ふ様な者は農民に非らずとまで言つてゐるがさう言ひ乍ら無理を言つてゐると思はざるを得ない、肥料も五大産業と同一に取扱ふと言はれたが戰時行政職權特例上の條文からみるとさうなつてをらぬ様にも思へる、政府は之につき戰時行政職權特例を發動して貰ひ度い、召集ならびに軍需工業への動員に依り農村人口は大に減少してゐる、然も農業勞働は工場賃銀に比し著しく少い、[illegible]

首相 食糧增産のための土地勞力資材の確保については[illegible]

[illegible]

肥料の配給量確保

[illegible]

在外大公使に人材を起用

【東京電話】[illegible]

生産責任者の兼務も認む

【東京電話】[illegible]

航空機の增産へ
女子を七割採用
請願委員會の中心問題

【東京電話】[illegible]

文部省阿原國民教育局長答辯 [illegible]

東鄕實氏（鹿兒島）[illegible]

近藤教學局長答辯 [illegible]

永田良吉氏（鹿兒島）[illegible]

軍需省松下軍需官答 [illegible]

小型モーターを農村へ轉用

【東京電話】[illegible]

難波企業整備本部長 [illegible]

國原電力局長 [illegible]

現物衣料の裏附を調整

【東京電話】[illegible]

低位收穫農地を活用
食糧增産に寄與多大

【東京電話】[illegible]

勞働年金保險金を近く引上

【東京電話】[illegible]

勤勞行政方針闡明

【東京電話】[illegible]

小泉厚相 [illegible]

林業勞務の確保に特別考慮

【東京電話】[illegible]

金屬を躍進增産
企業整備を急速斷行
小笠原代議士語る

【東京支社特電】[illegible]

[illegible]

大型輸送船を撃沈
フインシハーヘン 海鷲敵船團を猛爆

【□□基地○○發同盟】一月三十一日午後[illegible]ニユーギニア、フインシハーヘン附近海面において[illegible]

東西時事
米の覇道

【東京電話】ボリビアが[illegible]

[illegible]

ソ聯、エストニア國境で最初の交戰

【ストツクホルム二日同盟】[illegible]

ソ聯憲法の一部改正
共和國は聯邦退脱自由

【モスクワ二日同盟】[illegible]

ヴアチカンの外交政策
ソ聯紙の論說

【モスクワ二日同盟】[illegible]

反樞軸からソ聯の離脱工作
シーン師言明

【リスボン二日同盟】[illegible]

地下の資源は飛躍的に開發

【東京電話】[illegible]

決議案の趣旨辯明に清瀬氏

【東京電話】[illegible]

赤軍の包圍殲滅戰
完全失敗に歸す

【ベルリン二日同盟】[illegible]

援ソ補給路を獨空軍切斷

【ベルリン二日同盟】[illegible]

再建の伊空軍活躍
反樞軸七機撃墜

【ベルリン二日同盟】[illegible]

獨雷撃機、反樞軸船團を襲撃

【ベルリン二日同盟】[illegible]

イタリア戰況

【ベルリン二日同盟】[illegible]

英紙太平洋戰長期化を强調

【ストツクホルム三十一日同盟】[illegible]

現地の諸工業躍進
大發電所建設も進捗

【マカツサル同盟】[illegible]

南方の重點主義と物資の交流

[illegible]

現地工業建設の躍進

[illegible]

人事

[illegible]

化膿症に！
アルバジル錠
チスルフアミン劑
扁桃腺炎　中耳炎　蓄膿症　眼瞼炎　丹毒・面疔　婦人科化膿症　淋疾・等
季節に起り易く、悪化しやすき各種化膿症に對し、本劑は内服により直接に病原菌を克服す。故に化膿、疼痛、發熱等症狀の消失迅速かなるは勿論疾患の根本的治癒を促進せしめ得る！
東京・大阪
山之内製藥株式會社
台北市明石町二丁目

女性も皆働

に元氣で働きませう！
女性生理の障り、不順生理痛、頭痛、腰痛等には強力な女性ホルモン作用を發揮するエスチモンの内服を！
製法特許・強力女性ホルモン
エスチモン
大阪・台北　田邊製藥株式會社

ヒラノ
ビタヘモゲン錠
結核・心臓・夜尿症
尿意頻數・四肢冷感
産前産後・虚弱體質
疲勞回復・精力增進
（著名藥局にあり）
（說明書進呈）

松嶺道場に臨み　錬成する男女青年を激勵

長谷川總督

【新竹電話】新竹州下視察第一夜を新竹市自治會館に送つた長谷川總督は、三日午前九時二十分自治會館を出發、江藤知事の案内で、新竹神社に正式參拜をなし、これより錬成に關する松嶺道場に歩を進めた、この道場は北白川宮能久親王殿下御露營の地松嶺山の麓に位し[illegible]に圍まれた聖域の地である、同州下の男女青年が一箇月に亘つて合宿して錬成中である、昨年十二月五日竣工したばかりで木の香も新しい同道場で金子總務部長の[illegible]説明を聞いた長谷川總督は、道場錬成法や周圍を[illegible]に、キビ／＼した態度で國防訓練に移る女子青年の錬成する姿を頼もしげに視察して後、道場内の施設を巡視、女子[illegible]について[illegible]が開かれてゐる所で、歩を止めて、男子に代つて戰場に挺身せんとする女子青年達の決意や、勤勞奉仕隊として[illegible]田植や稻の收穫に挺身した[illegible]とした若き女性の力強い[illegible]にしばし耳を傾け、[illegible]「[illegible]」の[illegible]を[illegible]し、それより神前に集合した男女青年百餘名に對し、一言々句若人の肺腑をえぐる感激的な訓示を行つて、十時三十分同所を出發、途中〇〇工場を視察の後、十一時十分[illegible]工場で[illegible]の説明聽取後、親しく工場[illegible]を見て、十一時四十分自治會館に入つた

總督　諄々訓示す
重大なる使命
諸君の双肩にかかる

【新竹電話】錬成の殿堂新竹松嶺道場に合宿錬成に勵む男女中堅青年百餘名は三日長谷川總督を同道場に迎へて限りなき感激に打震へた、總督さんの姿を目の當りにして然も有難い訓示を下さるのだ、百餘の瞳へた面さしはぐつと緊張してゐる、やがて功一級金鵄勳章を胸間に輝かせた長谷川總督が若人の前に現れると一同張り切つた號令で敬禮する、總督は徐ろに口を開いた

溫和なところに[illegible]總督に注目する若人達の眼は輝く

錬成といふことは昔は一部の武士階級に行はれてゐた、近代では形は違ふが陸海軍では[illegible]、一般社會では[illegible]精神的の方面は[illegible]底されてゐた、併し精神的の訓練が非常に重要であることは申すまでもない、特に若人は[illegible]でこの間に精神を叩き込むことが人間を立派にするだけでなく社會の爲國家の爲に極めて肝要なのである、これからの世の中を背負つて行くものは諸君等若い人々である、國家を立派にするのも日本を立派にするのも一に諸君の[illegible]にかかつてゐる、口先ばかりで行ひが伴はなければ何にもならない、言擧げせずといふことがあるが[illegible]大言壯語するものは[illegible]の勇士ではない、黙々として[illegible]へられた任務を遂行して行くものが眞の勇士である、軍人は第一線で[illegible]、[illegible]のものは一俵でも多くの米を作り戰力增强に[illegible]する、その立場立場で[illegible]成果を上げるこれが最も大切なことだ

總督の[illegible]訓は若人を前にしてぐん／＼熱を帯びて來た

〇〇部隊では指揮官以下が兵隊と一緒の生活をして[illegible]不自由な南方戰線を凌んで一日のお米の一部を節約してゐるといふ狀態である、全く涙なしには聞かれない、これでこそ日本軍隊は強いのだと思つてこれを聞いた私は思はず涙を流した

總督の目にはきらつと光るものがあつた

諸君この意味で、諸君はここでの錬成によつて家郷に歸つたならば部落の中心となり、己れを捨ててお國の爲に盡して頂きたい、只偉い人、金持になるといふのでなく今日國家の爲にお役に立つ立派な人間になつて頂きたい

一語も聞き洩らすまいと居並ぶ若人の感激は絶頂に達した

やるぞ、[illegible]下のこの[illegible]に背いてはならない

固い決意ははち切れんばかりに緊張した若人の面に漲つてゐた

總督の午餐會　州下官民招待

【新竹電話】長谷川總督は、三日正午自治會館に新竹州下の官民十六氏を招待午餐を催し種々懇談した、出席者は左の通り

江藤知事、小川天然瓦斯研究所長、宮原法院長、志賀檢察官長、金子總務、曾我產業、井原警務三部長、[illegible]院長、水崎市長、加藤[illegible]長、大石[illegible]技師、清水[illegible]、[illegible]州議

故辜顯榮氏へ　勳三等旭日中綬章を賜はる

本島改隷以來の功勞者としてさきに勳三等瑞寶章を賜はり本島同胞中唯一人の貴族院議員として知られた辜顯榮氏が[illegible]したのは昭和十二年十二月であつたが今回[illegible]の功勞に依り勳三等旭日中綬章を賜はつた旨二日賞勳局より辜振甫氏の許へ通知があつた

將兵の士氣は軒昂
重慶擊滅、大東亞戰決勝の鍵　雲南新戰場
（前線で語る）

【雲南前線にて[illegible]陸軍報道班員發】西にインドを望み北に重慶を睨んでビルマを[illegible]雲南の[illegible]を[illegible]へつつあるが、我が將兵の意氣は正に軒昂たるものがある、この決戰の三年目[illegible]頭、記者は[illegible]に包まれた[illegible]高黎貢の嶮峻或は怒江の最前線に[illegible]への迎攻態勢に氣負ふ勇士たちを訪れ、前線戰況を聞いて怒江の雲南前線を守る將兵の逞しき決意を具に聽くことを得た

〇〇部隊長　雲南前線は一番地味な戰場のやうだが、この雲南の新戰場こそ重慶擊滅の鍵であり大東亞戰爭を勝拔く鍵なのだ、いはば支那事變から大東亞戰爭へと飛躍した[illegible]の[illegible]が此處雲南にもあるといつてもよい、このことは[illegible]側から見ても同じことがいひ得るので、抗戰重慶を叫んで七年、その抗戰の[illegible]の行詰りを今[illegible]において何んとか打破しやうと焦つてゐるのだ、米英の[illegible]に乘つてビルマ[illegible]反攻の片棒を擔ぎ、昨秋來[illegible]の[illegible]を[illegible]つて我が[illegible]を窺つたのもその焦燥の現はれである

陳誠も遂に逃げ出す

[illegible]を一年有餘に亘つて[illegible]けて來た陳誠も、昨秋の我が[illegible]雲南作戰にその[illegible]を[illegible]られ自ら辭職したのである、ビルマ[illegible]反攻の企圖の無[illegible]さを彼自身程[illegible]驗したものはあるまいし、大物の陳誠を[illegible]の[illegible]司令に、一年餘りビルマルート再開の[illegible]い希望をつないで來た重慶陣營に與へた[illegible]も亦大きかつたであらう、雲南作戰によつて[illegible]に與へた[illegible]は現在第一線から後退して[illegible]めてゐる第三十四師長が[illegible]に報告したところによれば兵員消耗七千五百といはれる

藁をもつかむ蔣介石

〇〇大尉　敵の陣容は現在のところビルマ進攻といふよりも我が奧地進攻に[illegible]々として[illegible]に[illegible]策してゐる有樣だ、殊に兵器の不足と新兵の素質[illegible]に[illegible]となつてゐるが、定員の[illegible]一個師で一萬前八千程度である、そこへもつてきて重慶軍は[illegible]方面にまで手を[illegible]げ[illegible]防[illegible]力の[illegible]を[illegible]いてゐるところへ、中支方面では[illegible]大戰[illegible]に[illegible]かれ、ビルマ反攻の姿どころか尻に火のついたやうに[illegible]してゐる、併し注目されるのは最近取沙汰されてゐる米國式裝備の[illegible]化部隊である、米國は[illegible]ひそかに[illegible]部にむける[illegible]を[illegible]しやうと米國式裝備を[illegible]物にしてゐる、[illegible]にも[illegible]く重慶がこの好餌に飛びつくことは[illegible]されるが、[illegible]として現在[illegible]米空軍のガソリンさへ四百八十[illegible]の[illegible]であるから大量の武器を運び込むことは曲藝にも等しい、また最近蔣介石を[illegible]として米國式[illegible]部[illegible]が新設され、三箇師の[illegible]

厭戰氣分と物價暴騰

〇〇中尉　俘虜から將兵の不平不滿、厭戰氣分といつたものがよくわかる、例へばインテリ兵などは異口同音に戰爭目的が分らないといふ、最近の日華の新しい關係など[illegible]ではさつぱり分らない、そして彼らはどんなことをいつてゐた

吾々はもう戰爭が嫌になつた、物價が甚だしく騰り話にならぬ、それに主食の米まで一日定量二百三十匁の三分の一もくれない、吾々の日常生活に[illegible]つても[illegible]ない[illegible]も殆ど[illegible]らないといつてよい、日本軍は攻擊は知つてゐるが退却を知らない、この[illegible]の前にはどんなに[illegible]つても結局は敗けてしまふのだ

歸りません勝つまでは

〇〇中尉　怒江[illegible]地區以東に於ける物價[illegible]は民衆の生活に非常な不安を投げかけてゐる、[illegible]によれば[illegible]、大理、昆明等では怒江作戰前の昨年十月の二倍に[illegible]、日用雜貨は三倍近く跳ね上つてゐる、[illegible]一個が三千元から四千元、マッチが一箇二十元、子供用[illegible]が八十元といつた具合だ、[illegible]明の昨今は[illegible]にも等しい[illegible]で、[illegible]前の七十倍から百二十倍の物價[illegible]に民衆の生活はまつたく底を割つてゐるやうだ、もつとひどいのは保山だ、前の怒江作戰で「日本軍來る」の聲に怯えた住民は一[illegible]したので町は[illegible]し切つてゐる、現在は半[illegible]の住民が[illegible]つてゐるが、物價は昨年十月に比し四倍になつてゐる、敵の雲南前線の基地の保山は全く軍隊兵の町と化し[illegible]、[illegible]など絶え間なく最近は再び「日軍進攻」の噂に[illegible]たる不安にかられ[illegible]してゐるといふ

〇〇中尉　怒江の河など、[illegible]々と流れる怒江の激流だとか、[illegible]く怒江の[illegible]流とか、怒江とは[illegible]ち怒れる河だといはれて來たが、皇軍[illegible]の前には支那のクリークを渡るやうなものだ、それに怒江の各渡河點はすべて我が掌中にあり、昆明への進擊の[illegible]はすでに布陣を了へ[illegible]たる自信を以て待機してゐる

〇〇部隊長　雲南の戰場には華々しさはない[illegible]のやうに山また山が[illegible]である、空と山これが雲南の世界である、あたかも大海に出ると空と海ばかりであるのと等しい、その中を昆明への近道であるその昔の援蔣ビルマルートが[illegible]と走つてゐる、かつては[illegible]であつたこの道も今では重慶の死命を制する[illegible]となつてゐる、重慶の皮肉といはうか、大東亞の解放に一人背く重慶が[illegible]くべき[illegible]の道を[illegible]められる道となつた、將兵の[illegible]は[illegible]ともに天を衝くものがある

兵士「[illegible]りません、勝つまでは」と[illegible]つてゐる、此の[illegible]こそ將兵達は[illegible]を[illegible]しい[illegible]を燃やしてゐる

沈み行くブエノスアイレス丸船内から救出された看護婦さんたち【陸軍省檢閲濟】

『十億保健の大理想』

紅頭ラッツ藤大增產
結核療養所設置も計畫

[illegible]

“戰時大量生產目標”
工作機械　單能式へ切替へ
取扱簡化　女子の進出容易

【東京電話】二十九日東京[illegible]工作機械十八社が[illegible]げられ、工作機械の萬能式を單能式に切り替へが[illegible]され[illegible]の方面に關心の寄せられた一般人の注意を[illegible]くに至つたが、[illegible]に單能式工作機械を採用してから非常な好率を[illegible]げて居る〇〇[illegible]、[illegible]單能式採用の[illegible]ひは、戰時大量生產を目ざすものであつて、[illegible]、部分品及び工數の[illegible]

生產能率[illegible]の向上の[illegible]に[illegible]へるもので、從來の英米[illegible]に依る萬能式をかなぐり捨て日本式大量生產方式を確立したものであるが、機械の取扱ひが簡化される[illegible]、[illegible]を[illegible]しないと云ふ[illegible]の利益をも見逃してはならぬ、之は工場の[illegible]人的資源の節約に役立つのみならず、此の方面への女子進出を容易ならしめ、女子代替に副ひ得る様

萬全を期　してゐる、某村の[illegible]組合の女子[illegible]では[illegible]から[illegible]の女子を集めて單能式工作機械で兵器を作つてゐるが、[illegible]作品は百パーセント合格の素晴らしい成績を[illegible]げてゐる

密林に闘ふ兵の勞苦
ニューギニア奧地踏査行
皆川陸軍報道班員

暗黒の奧地に分け入る

ニューギニアに[illegible]する私達の[illegible]は[illegible]であり[illegible]に近い「暗黒の世」「二十世紀に只一つ殘された不思議な地」文明の光を[illegible]しようとするまで、今[illegible]に[illegible]した[illegible]族の住む國これが私達一[illegible]のこの島に[illegible]するせいぜいの[illegible]であるが、[illegible]にこの島に[illegible]者が[illegible]て、心に[illegible]したものはそれは[illegible]の[illegible]を[illegible]らない[illegible]であつた、[illegible]日本人として[illegible]り先に奧地踏査の[illegible]を[illegible]された一人であるのに[illegible]してゐる

「百聞は一見に如かず」

今[illegible]のパプア・カンボン（部落）の[illegible]の一つであつた、今私達の[illegible]に[illegible]ぜられた任務は、この[illegible]地の[illegible]し、千古[illegible]林の[illegible]する山岳に、[illegible]して近代科學の[illegible]を[illegible]な[illegible]の[illegible]ひを[illegible]して居る「[illegible]の島」「暗黒の世界」といはれるこの[illegible]に皇國の[illegible]が入つたのである、[illegible]くない

[illegible]米英勢力を[illegible]すべき必要の[illegible]である、[illegible]の[illegible]ニューギニアに[illegible]した我が將兵の[illegible]には[illegible]パプアが[illegible]して居る、彼等は[illegible]の[illegible]が[illegible]た當初から[illegible]に[illegible]る長い年月にわたんでこの[illegible]の名を[illegible]つた[illegible]た[illegible]から何等の[illegible]も[illegible]ずに、[illegible]の下に[illegible]して來た、[illegible]である、[illegible]日月ではあつたがこれ等パプア[illegible]族の[illegible]と[illegible]林と河川を[illegible]して[illegible]しく彼等の生活に[illegible]することが出來た、そして[illegible]

密林に溫厚の天地あり

[illegible]し[illegible]大きい[illegible]を持つてこの文を[illegible]るのである

[illegible]として此の島に[illegible]る[illegible]をひもといて見たい、ニューギニアは[illegible]二三[illegible]と[illegible]五[illegible]の二千[illegible]の間、[illegible]一[illegible]に位する[illegible]道下の[illegible]の島で[illegible]が内地の[illegible]を持つた[illegible]の大きい島とされてゐる、[illegible]四一[illegible]から[illegible]でそれ以西が[illegible]ニューギニアといはれてゐる、[illegible]西に分れてゐる、ニューギニアは[illegible]パプア島とも呼ばれてゐる、一五二六年ポルトガル人デメネスが[illegible]見した[illegible]オス・パプア」（パプア島）、パプアは馬來語のプアプアの[illegible]化で縮毛）と呼んだ、其後一五四五年スペイン探檢隊がこの島に[illegible]した時隊長ニューゴ・デ・レテスなる者が、この島の住民がアフリカのギネア人に似てゐるところから「ヌエヴァ・ギネヤ」と命名した、之が起因となつて其後[illegible]上に[illegible]で「ノヴァ・ギネヤ」と[illegible]かれて來たのである

……◇……

[illegible]の[illegible]した地[illegible]は[illegible]ニューギニアで島の西部に[illegible]つてゐる、ジャングルの密生する[illegible]と中央山脈から無數に海に注ぐ河川上流に[illegible]する[illegible]である、人口密度は平均一平方キロ八人とされ、[illegible]一の[illegible]といはれるアフリカのサハラ[illegible]（五分[illegible]）より[illegible]つてゐる、人[illegible]でこの地帶で[illegible]等土族（パプア）、[illegible]ジボン（部落）を[illegible]する[illegible]とではないのだが、私達は[illegible]な任務を[illegible]ぜられてゐて、いはば最小限度の時間内でパプアの生活[illegible]を見ようとしたため[illegible]ぬ[illegible]を[illegible]れなかつたのである

……◇……

西部ニューギニアの人口は二十萬近くとされてゐる、[illegible]は十五萬二千平方[illegible]、今[illegible]原始生活を[illegible]むパプア族の[illegible]い[illegible]族がここに[illegible]してゐる、中央を[illegible]する[illegible]四千米に近いナッソウ（[illegible]山）山脈と、それより[illegible]生する山の[illegible]は[illegible]に西に[illegible]は北に[illegible]つもの[illegible]を[illegible]して[illegible]に向ひ、天[illegible]の[illegible]は[illegible]として[illegible]うて[illegible]を[illegible]させてゐる、この山間に生活する[illegible]を[illegible]して[illegible]るアラフラ[illegible]が[illegible]に[illegible]を[illegible]へて[illegible]を[illegible]つてゐる

密林と兵隊

[illegible]、鳥、野犬を[illegible]なく[illegible]ふパプア族が魚介を[illegible]つて[illegible]林に[illegible]、河川のデルタ地[illegible]に[illegible]し、[illegible]を[illegible]る[illegible]の生活を、今も[illegible]る彼等の生[illegible]を[illegible]るのである

[illegible]を[illegible]へたある日の午後[illegible]イッギャブッと木立を[illegible]がす[illegible]の[illegible]から[illegible]し[illegible]る[illegible]の[illegible]の[illegible]と羽[illegible]に[illegible]るやうにして[illegible]の[illegible]に出てみた、[illegible]は[illegible]（それはどれを見てもマングローブと[illegible]木の[illegible]の[illegible]も出來ない[illegible]とからみ合つて太い木[illegible]に[illegible]てゐた）「カンボン〇〇〇」これが[illegible]〇〇部隊の[illegible]のある土地の名である、[illegible]した[illegible]の[illegible]を[illegible]んで[illegible]られたこの[illegible]の[illegible]を[illegible]ても、[illegible]上げる[illegible]のマングローブ林で「[illegible]も[illegible]のあたる場所ですが」といふ中本中尉の[illegible]を[illegible]つて[illegible]の[illegible]るさが[illegible]にこの[illegible]に[illegible]されてゐるに過ぎない、どの[illegible]林を見ても、[illegible]板の[illegible]をした[illegible]は[illegible]に[illegible]入つてゐる[illegible]この[illegible]林の中での[illegible]は二十[illegible]から[illegible]した[illegible]は[illegible]たる木[illegible]に[illegible]られて[illegible]へ間なく[illegible]となつて[illegible]下し地上[illegible]を作つてゐる

この[illegible]、日夜[illegible]に[illegible]へて[illegible]が[illegible]つてゐるのも、それな大きな目的があるからだ、ここで働く[illegible]の毎日の氣持がどんなであるかは自分がよく知つてゐる、そこで[illegible]に[illegible]された唯一の樂しみとしては[illegible]日の勤勞の中に[illegible]びを[illegible]し、お互深い理解力を以て[illegible]を[illegible]し合ふことに努めて[illegible]れ

いつの間にか〇人程の兵隊が小舍の前に[illegible]を[illegible]して[illegible]んでゐる、中央に立して[illegible]をみてゐるのがさうきの中本中尉である（[illegible]）

銃後の健民錬成
臺北市

臺北市健民[illegible]では紀元の佳節を[illegible]し[illegible]健民[illegible]に[illegible]すると共に決戰[illegible]三年目に勝拔く[illegible]を[illegible]するため

△武道大會　を十一日午後[illegible]時三十分より臺北市公會堂において、劍道、柔道、[illegible]刀、弓道の四種目について[illegible]、一般、有段者の[illegible]加を求めて[illegible]する、また

△銃劍道大會　は十三日午前一時より臺北公園[illegible]において[illegible]するが、參加者は[illegible]軍人、[illegible]、[illegible]、[illegible]の十時より川[illegible]公園[illegible]において國民學校、一般[illegible]參加の下に[illegible]

△繼走大會　は同十三日午後二時より[illegible]、[illegible]參加の下に[illegible]する、[illegible]は[illegible]へ五日までに申込まれたい

△相撲大會　は同十三日午前

拓南農業戰士訓練所
第四期生を募集

大東亞戰爭[illegible]以來本島青年の[illegible]の[illegible]は[illegible]の火の如く各方面に[illegible]り[illegible]げて米英[illegible]に[illegible]ひ立つてゐる、皇民奉公會では[illegible]な地[illegible]に[illegible]る南方[illegible]、南方建設は[illegible]してゐる[illegible]であるが、これら若き[illegible]の力に[illegible]つる[illegible]く又現地に於ても[illegible]青年の[illegible]を[illegible]に[illegible]してゐるので[illegible]南[illegible]戰士訓練所を[illegible]し[illegible]に[illegible]青年を[illegible]成しこれに[illegible]へしめつつあり[illegible]に第三期生を[illegible]に[illegible]つてゐるがこれら[illegible]了生は南方占領地域の第一線の[illegible]に[illegible]しその成績も[illegible]る良好で本島青年の[illegible]を[illegible]なく[illegible]してゐるのは[illegible]しき限りである、皇民奉公會ではこれに力を得て[illegible]に第四期生を左記により募集することとなつたが、[illegible]の[illegible]に[illegible]え、南方[illegible]の[illegible]にたぎりたつ本島青年の[illegible]を期待してゐる

訓練開始及期間　三月一日より五月三十一日迄三箇月間

募集人員　[illegible]所（[illegible]）二五〇名

入所資格　左の各號に[illegible]する男子にして[illegible]に合格したる者

一、滿十八歳以上三十歳未滿にして國民學校初等科を修了したる者

二、現に農業に從事し又は農業に經驗を有する者

三、身體強健にして志操堅實南方農業生活に[illegible]する者

志願手續　志願者は二月二十日迄に左の[illegible]類を各州[illegible]皇民奉公會支部宛に申込むこと

採用願（[illegible]）、履歷書（[illegible]）[illegible]に訓練を受けたる有無を記入のこと、[illegible]主又は保護者の入所承諾書

採用試驗　志願者に對しては[illegible]口頭試問を施行す、受驗者は志願書受付と同時に各州[illegible]支部より本人に通知す

試驗場及日時　臺北州下、二月二十六日午前九時、臺北市[illegible]南[illegible]業戰士訓練所△新竹[illegible]

本島青年の使命發揮
南方の開拓戰へ挺身

米穀增產
昨年同期より二％餘增
供出は一月末既に百％
戰ふ臺北州

【臺北電話】臺北州の大八年度第二期作は七月の[illegible]風雨に依り水[illegible]害を[illegible]され[illegible]不足の[illegible]付の遲延したことと其の後の[illegible]の[illegible]生等に依り成育初期に於ては[illegible]不良であつたが[illegible]の指導と農民の[illegible]なき努力に依り其の[illegible]に於ては過去三ケ年平均より一・九％の增收、甲[illegible]一[illegible]を[illegible]げた、これは[illegible]計[illegible]を[illegible]むる現[illegible]によるものであり、供出も官の指導[illegible]に於て食糧增產の重要性に[illegible]み銃後の州民が[illegible]力を[illegible]げた結果[illegible]と農民の食糧自給[illegible]確立の[illegible]的國家要請なる[illegible]を認識したため[illegible]年より五箇月も早く即ち一月末日には既一〇〇パーセントを突破し[illegible]に引續き供出中であるので[illegible]十二、過去三箇年平均に比し一〇パーセント六七の增收を[illegible]る[illegible]國食糧[illegible]に[illegible]する[illegible]大なるものありと期待されてゐる

ヨイ子お小遣獻金

【基隆電話】基隆市[illegible]國民學校のヨイ子供達は自分のお小遣ひを[illegible]

窮民へ施米

臺北市[illegible]町三丁目[illegible]田馬吉氏は市内窮民に對する[illegible]い心やりから昭和十四年以來[illegible]を通じ施米を[illegible]けて來たが今年に入り[illegible]らず之を[illegible]け二十九日[illegible]へ本年[illegible]の施米の手續を[illegible]して來たので[illegible]では[illegible]を取つた

臺陽美術協會　十周年記念展

臺陽美術協會では本年四月を以て[illegible]十周年を迎へるので會員[illegible]及び[illegible]等による[illegible]出品で十周年記念展を四月二十六日より五日間[illegible]する

北投善光寺　英靈慰靈祭

北投善光寺では四日の節分[illegible]、大東亞戰爭の[illegible]慰靈祭を[illegible]日午後五時から七時迄執行する

國語劇
徵兵制に備ふ
興行統制會社

[illegible]兵[illegible]の[illegible]に伴つて[illegible]、[illegible]では[illegible]として[illegible]四月一日から[illegible]することとなつた、これについて同社[illegible]氏は次の如く語つた

徵兵制度の實施に伴つて[illegible]兵隊さんになる[illegible]にどうしても國語を知らなければならない、その見地から演劇による國語普及が必要と思つて企畫したのです、[illegible]四[illegible]一日から[illegible]（十一[illegible]）に興行時間三時間中三十分乃至一時間[illegible]語劇を上演[illegible]

航空機の重要性痛感
武官府へ毎月獻金す

[illegible]大東亞戰以來[illegible]部隊は[illegible]を中心に[illegible]つて飛ぶ機上に[illegible]の重[illegible]を[illegible]に[illegible]し[illegible]一〇圓宛の獻納金を[illegible]ひ立ちそれから月々臺北[illegible]武官府に[illegible]かさず獻金を續けてゐるが二日また代表[illegible]が武官府を訪れて二月分[illegible]圓を獻金し[illegible]を感激させてゐる

臺北州再編成協力會常任議員會議

臺北州再編成協力會[illegible]は三日午後一時より州會議室において[illegible]部長、小[illegible]工課長、各[illegible]員出席の下に[illegible]し、午後四時[illegible]した

兒童の結核豫防に福音
竹腰氏の美擧

臺北市本町竹腰[illegible]主竹腰[illegible]一氏は將來國家の負荷に任ずる[illegible]の保健[illegible]生活に[illegible]豫防の必要を[illegible]し又[illegible]入資金として一萬二千圓を臺北市[illegible]生會に寄贈したので[illegible]者を非常に感激せしめた、同會では既に一萬[illegible]圓と合せて、今[illegible]竹腰氏寄贈の分と合せて二[illegible]を[illegible]するに至れば年數回[illegible]の早期發見、[illegible]いては其の[illegible]の[illegible]を[illegible]し得る由であるから[illegible]にとつては此の上もない幸[illegible]である、因に此の間接[illegible]は一[illegible]の[illegible]に十[illegible]位の[illegible]である[illegible]であるとのことである

徵兵制實施に感激
在中華各地同胞の獻金

[illegible]六百五十萬[illegible]民[illegible]の待[illegible]せる[illegible]兵制の實施決定が支那各地に[illegible]へられるや在支各地の同胞は大いに感激、此の歴史的徵兵制[illegible]を記念するために各地で同胞大會を[illegible]き、[illegible]を[illegible]して獻金の[illegible]を行つたが既にこれら同胞の赤誠獻金は現地[illegible]に夫々獻納手續がとられた[illegible]であるがこの程[illegible]東および[illegible]南[illegible]在住本島同胞の赤誠獻金は左記の通りである

南京南友會（[illegible]）陸軍へ法幣金五十五萬元、海軍へ法幣金五萬七千二百八十元

廣東新高會　金千九百三十二圓二十錢

海南島三亞在住　同胞金五千圓、[illegible]口地區及北[illegible]地區在住同胞一萬六千八百九十五圓二十三錢

[illegible]して[illegible]た金四圓二十七錢を兵隊さんの慰[illegible]にと[illegible]に[illegible]して獻金した

防空協會へ
諸[illegible]が百萬圓の寄附申出づ

一財團法人大日本防空協會臺灣本部は二日[illegible]ホテルに設立委員會を開催し、[illegible]要綱其の他を決定して愈々發足したのであるが、この發足に當り大日本[illegible]協會に於ては[illegible]に[illegible]ケ一百萬圓の寄附を申出て[illegible]空[illegible]の赤誠を示し同協會本部の活潑なる[illegible]に資することになつた、又之に應じても知られる如く本島[illegible]の防空に對する熱意は極めて旺盛にして今後同[illegible]の[illegible]と本部の設立とこの[illegible]民の熱意とにより本島防空態勢の強化は一段と期待されるものがある

健民修錬會
適齢虛弱青年を叩き直す

【臺中電話】[illegible]兵制度實施に[illegible]し州下[illegible]青年を[illegible]々に[illegible]き直す臺中州[illegible]生[illegible]一[illegible]修錬會（百名）は去る二十四日より[illegible]にて[illegible]中の[illegible]を[illegible]の[illegible]程を終へたので二日[illegible]式を[illegible]行し、會員一同は皇國に役立つ[illegible]固たる身體を作り上げるべく[illegible]ひつつ夫々歸郷した、[illegible]一[illegible]修[illegible]會は三日より十日間[illegible]にて[illegible]されるが[illegible]七十五名である

必勝信念昂揚
臺中州[illegible]
新役員[illegible]

【臺中電話】臺中州下[illegible]の人選を[illegible]、十一日紀元の佳節[illegible]と同時に[illegible]に[illegible]すると共に[illegible]、[illegible]力に[illegible]ることは今[illegible]防空[illegible]は注意せねば[illegible]

【娘さん】【ご注意】

最近夜の闇にまぎれて、道行く年頃の娘を呼び止め、けしからぬ行爲に出んとする[illegible]が出て、年頃の娘持つ親達は特に注意を要すると吉田南署司法主任は右につき次の如く語つた

[illegible]

臺北市南[illegible]

（98）

村松梢風作
中一彌畫

大三島（五）

[illegible]太郎は、我が身の上を語り終つた。

小浪は、其の話しを聞いて[illegible]い。併し、彼女も[illegible]十[illegible]の名を[illegible]て聞き知つて居たのである。[illegible]外な處で昔の家來に會つたものである。

[illegible]ひに[illegible]を[illegible]くばかりであつた。十兵衛は話頭を變へ、

「今日[illegible]らずも此處で[illegible]にめぐり[illegible]ふといふのも、定めて地下の殿のお手引きで御座りませう。それにしても[illegible]は唯一人でどうして斯[illegible]な處へお出でなされました」

と不思議さうに尋ねた。

小浪も今は包み隱す必要はないから有りの儘に我身の大[illegible]を語つた。復讐の[illegible]みを抱いて[illegible]の村上家へ女中奉公に住み込んだ[illegible]ら、昨夜[illegible]らずも[illegible]好の[illegible]を得たので[illegible]元吉を討たうとしたところが、反[illegible]に元吉のために取り押へられ、[illegible]に乘せられて此の[illegible]へ[illegible]せられた[illegible]を[illegible]ると、[illegible]十兵衛は一々[illegible]して聞き[illegible]り「それは[illegible]に[illegible]き入つたお[illegible]で御座りました。假令元吉を討ち[illegible]ずるとも、うら若い女性のお身で[illegible]に刃を[illegible]したことは天晴れのお手柄と申しても差し支へは御座らん。[illegible]の[illegible]は四方に[illegible]したと申しても、またあちこちに[illegible]して[illegible]の[illegible]來を待つて居る

[illegible]がある から一人[illegible]と命令した。

山[illegible]の[illegible]は何[illegible]まつて來たか[illegible]の人[illegible]になつた。

「皆の者[illegible]のお方は、我らの[illegible]君だ。今日から[illegible]人となる。[illegible]

どうだ」

山[illegible]は[illegible]の頭目の[illegible]お[illegible]はれたので[illegible]なら[illegible]面よりも[illegible]有り[illegible]いか[illegible]

「へい／＼、承[illegible]

一同[illegible]なく[illegible]ことを[illegible]つた。

かくして小浪[illegible]らす身の上と[illegible]

今日より[illegible]お家[illegible]何卒お許し下され

「それは妾の方で[illegible]

後は何分力になつ[illegible]

「[illegible]の[illegible]不知[illegible]で御座る。[illegible]

[illegible]は、世を忍ぶ[illegible]れば、[illegible]分は[illegible]ましてはいかが[illegible]

「妾も[illegible]に目[illegible]へなくば[illegible]いて[illegible]

「[illegible]へどこ[illegible]ん。それに此の[illegible]